

賢く消費しよう

今年も早あと1か月をきりました。そろそろ年賀状の準備に入らねばと思うのですが、年賀状といえばイラストには干支が付きものですが、さて、今年の干支はなんやったっけ？とふと考えます。年末年始を除いていかに干支とはなじみがないのかつくづく思います。さて今年の干支は思い出せないので手っ取り早くサッとスマートホンを出して検索すると午(うま)でした。すると来年は未(ひつじ)です。来年の年賀状は羊のイラストをメインにまた考えようと思います。しかし、年明けて今年の干支は未(ひつじ)と自信を持って言えるのはいつまでか・・・。

年末恒例、今年の流行語大賞は「ダメよ～ダメダメ」と「集団的自衛権」が選ばれました。私個人的にはアナ雪の「ありのまま」の方がインパクトありましたが、この二つの言葉をくっつけて「集団的自衛権はダメよ～ダメダメ」とでも言いたいのでしょうか。ちなみに、吉本新喜劇の芸人 島田一の介のギャグで良く似たセリフがあったことを思い出して検索してみると「ダメよダメよダメなのよ～」でした。

ところで、衆議院選挙は今月2日に公示され14日には投開票されます。師走の総選挙は2年ぶりで、前回は29年ぶりの師走の総選挙だったので何かと慌ただしいこの時期の総選挙は過去あまりなかったのでしょうか。2年前は政権選択の選挙でしたが、今回は与党の議席の過半数割れはなさそうですのでアベノミクスに対する採点である中間選挙的な位置づけとなるようです。与党としては今夏に世論の批判を浴び流行語大賞にも選ばれた「集団的自衛権」は選挙の争点にはあまりしたくないようで、もっぱら経済政策をメインに争いたいようです。消費税の10%税率引上げの延期は予想外でした。それをさらに衆議院の解散と結び付けるとは・・・。リーマンショックや大震災のような危機的状況でない限りは既定通り来年10月には税率を再引上げすると思っていましたので、財務省や10月31日に追加金融緩和を決めた日銀にとってはちゃぶ台をひっくり返された思いだったのではないのでしょうか。これだけの大きな決断ができるのは政権地盤が強い証拠であるともいえますし、景気の腰折れを何としても避けたいのかもしれませんが、日本の財政の危機的な状況は変わらず、問題を先送りしただけともいえます。

さて来年2015年からは歴史的な相続税の増税が行われます。相続税がかからない最低ラインである基礎控除額を現行5000万円+1000万円×法定相続人数から3000万円+600万円×法定相続人数へと40%引下げることを中心とした増税です。それ以外にも、個人の所得税の課税所得4000万円超の最高税率を40%から45%への引上げ等富裕層をターゲットにした増税は来年から予定通り行われます。しかし、富裕層に対する増税は庶民感情を考慮して消費税率10%への再引上げと同じ年に合わせて行われるものと理解していましたが、消費税率再引上げは先送りされた結果相続税等の増税が先行する形となりました。

消費税率引上げ延期の根拠ともなった7～9月期の実質GDP成長率の速報値-0.4%(年率-1.6%)は4～6月期の-1.8%(年率-7.1%)に続いて2期連続マイナスとなり大きなインパクトを与えました。ちなみに東日本大震災時の2011年1～3月期は年率-6.9%だったので、-7.1%は消費税増税の反動減とはいえないか悪い数字か理解できます。消費の落ち込みは消費税増税よりも円安に伴う輸入物価の上昇が大きいように思います。とりわけ食料品の相次ぐ値上げラッシュは目を引きまします。加工食品などはその値上げ幅も大きく8～10%、消費税率の3%UPの比ではありません。10月には餃子の王将が10%値上げしたことが話題になりましたが、もともと安い上に美味しいので見た目にはあまり影響を受けずに流行っているように思います。円安で潤っているのは大企業を中心とした一部の輸出産業で、家計は食料品などの物価高によりサイフの紐を固く締めています。

考えたら、為替はつい2年前は80円/ドル位だったのが最近では120円/ドル直前と5割程円安になっていますので、単純には原料等の輸入価格が5割上がってもおかしくない水準です。幸いガソリンは原油価格が大幅に下がっているのに145円/L位で落ち着いています。もし原油安がなければ200円/L位になっているのかもしれませんが。アベノミクスによる株価上昇で日本の株式の時価総額は300兆円から500兆円に200兆円増えたそうです。そのうち個人が約30%持っているので60兆円も懐が潤った計算になります。しかし、それほど大きく消費が伸びていません。消費税率の引上げ延期がさらに日本の財政を圧迫し、将来の社会保障に対する不安から消費を手控えるようでは負の連鎖となります。

もともと日本人は真面目ですので、老後に備えて蓄えようとしますが、60歳を過ぎても老後のために、70歳になっても後々のために、80歳になってもなにかあった時のために、といつまでたっても消費しない習性があり、歳を重ねると余計にお金を使う機会が薄くなっていきます。お金は使ってこそお金であって、積み上げているだけではただの紙くずです。相続税の増税もありますので、世のため人の為、さらに自分の為、賢く消費することが「相続税対策」にもつながりますが。